

東日本大震災心理支援報告研修会

～ 現地支援者の証言 ～

2012年12月22日 於：日本教育会館一ツ橋ホール



一般社団法人 日本臨床心理士会

東日本大震災心理支援センター

URL : <http://www.jpssc.biz/index.html>

目次

センター長挨拶	村瀬嘉代子	3
---------	-------	---

第1部 東日本大震災の経験から その1 ～今後必要な支援を考えるために～

石巻赤十字病院からの報告	石橋 悟	7
南三陸町ベイサイドアリーナ 避難所での経験から	高橋晶子	25
釜石市における災害後の保健活動	洞口祐子	41
福島・よろず健康相談事業	小早川義貴	59

第2部 東日本大震災の経験から その2 ～心理支援の経験と課題～ 東北3県からの報告 ～2年目の状況から今後への課題検討と提言～

岩手県臨床心理士会の活動	中谷敬明	77
宮城県臨床心理士会の活動	菊池陽子	89
福島県臨床心理士会の活動	成井香苗	99

第3部 シンポジウム ～災害におけるこころのケアとは～

南三陸町の災害医療	西澤匡史	115
小学校の現場から	伊藤律子	133
福島の前線から	下田章子	147
指定討論	村瀬嘉代子	157

編集後記		165
------	--	-----

センター長挨拶

村瀬嘉代子

(センター長・日本臨床心理士会会長・北翔大学)

暮れも押し迫りまして、このように足元の悪い中、大勢の方がご参加くださりまして、本当にありがとうございます。この企画をご案内をさせていただきましたところ、何と450名を超える方々からご参加のお申し込みをいただき、本当にありがたく存じます。

皆様も報道でご存じのように、未曾有の大災害に対しましてはいろいろ計画を考えられながら、復興は遅々として進まず、被災地の方々のお苦しみ、ご苦労は言葉に尽くせぬものがあると存じます。多くの尊い命が失われたほかに、今なお行方不明者が三千数百人という現実がございます。そこで、今から30秒、ご一緒に黙祷を捧げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。黙祷……。ありがとうございました。

この東日本大震災が生じた直後、私ども日本臨床心理士会は日本精神衛生会からのお呼びかけをいただきまして、日本電話相談学会、東京臨床心理士会とご一緒に、直ちに電話相談を始めました。そして、平成23年3月22日に日本臨床心理士会、日本心理臨床学会、日本臨床心理士資格認定協会、この3団体が一緒になりまして、東日本大震災心理支援センターを立ち上げ、そこに幾つかの心理学関係の学会もご参加くださいました。ご承知のように、全国各地の臨床心理士会から被災地にスクールカウンセラーを延べ3,000人近くと伺っていますが、ほかにも各県から直接現地に赴かれたということもございます。

そしてまた、医師の団体の方々にご一緒させていただきまして、初めの緊急支援等にかかわらせていただく、あるいはコミュニティが少しでもつながりを取り戻し、少しでもほっとしていただけるために、現地にカフェを運営するというような、さまざまな活動をして参りました。しかし、これは言葉に尽く



せない大きな痛手を受けられた方々のお苦しみに比べまして、大海の一滴にも当たらない、ささやかなことでございます。

ただ、この災害大国、残念なことですがこれからも我が国にそういう災害があるであろうということも報じられております。昨年の報告研修会では、実際に被災地に赴いてどのような活動をさせていただいたか、その反省と今後の展望について検証報告をさせていただきましたが、2年目に入りますと、支援というものは、より一層、お一人お一人、一つ一つの出来事に対してきめ細かなかわりが必要になって参ります。

そして、何よりも現地の方々が少しでも元気を回復していただくこともございまして、こちらから赴くことばかりが中心に

なるのではなく、被災地の方々の活動に役立つことも大事と考えました。会員や皆様方の献金、またいろいろな団体が私どもの活動にお力添えをいただいたのですが、国際ロータリークラブなどは、本当は支援は物ですというのが大原則で、非常に細かい会計検査があるのでございますけれども、私どもの会は少ない人手で、事務局は本当に昼夜いっぱい、いろいろな裏方の仕事に追われているということもございまして、異例ですけれども、今回のことにはそうした細かい事務について少し緩やかな措置をいただき、実はさまざまな方が心を寄せて、こうしたご協力をくださいました。

2年目に入りまして考えましたことは、昨年のように、こちらから現地に伺ったことの報告を中心といたしますよりも、これからは、善意だけでもややずれているというようなことが多少でも少なくなるようにという意味で、被災地で活動して下さっている方々をお招きしまして、これまでの経過と今後についてのご意見をいただき、それをもとに私たちも今後より一層、現実になった活動をしてまいり、その糧にしたいと思います。

このように未曾有の大きな災害に対しましては、特定の専門家だけがかかわるということよりは、市民一人一人が自分の生き方を考えて、自分の立場でどのように人とつながり支援するか、ということも問われているかと思ひまして、今後も皆様とご一緒にこのことに心を尽くしてまいりたいと思ひます。この集まりが実りあるものになりますことを願っております。

東日本大震災心理支援報告研修会 ～ 現地支援者の証言 ～

発行日：平成25年7月21日 発行

編集：一般社団法人 日本臨床心理士会 東日本大震災心理支援センター

発行：一般社団法人 日本臨床心理士会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-14 山崎ビル401

TEL：03-3817-6801 FAX：03-3817-6802

E-mail：office@jsccp.jp URL：http://www.jsccp.jp/